



2024年12月23日

各位

会社名 株式会社 fantasista  
代表者名 代表取締役社長 田野 大地  
(コード: 1783 東証スタンダード)  
問い合わせ先 管理本部長 大森 健史  
(TEL 03-5572-7848)

(訂正・数値データ訂正)「2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の  
一部訂正に関するお知らせ

当社は、2024年11月14日付けで発表いたしました「2024年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に、一部訂正を要する箇所がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本訂正による開示済みの連結業績への影響はございません。

記

1. 訂正の理由

集計漏れによる誤表示の訂正

2. 訂正の内容

「2024年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後、記載内容の一部に誤りがある事が判明しましたのでこれを訂正します。(訂正箇所には下線を付しております。)

(訂正①) 添付資料2ページ

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

訂正箇所	【訂正前】	【訂正後】
① リアルステート事業の11行目	以上の結果、売上高 84 億 6 百万円 (前年同期比 14.7%減)、セグメント利益 <u>15 億 29 百万円</u> (前年同期比 <u>29.6%</u> 減) となりました。	以上の結果、売上高 84 億 6 百万円 (前年同期比 14.7%減)、セグメント利益 <u>12 億 77 百万円</u> (前年同期比 <u>41.2%</u> 減) となりました。
② ヘルスケア事業の4行目	以上の結果、売上高 <u>5 億 88 百万円</u> (前年同期比 <u>16.8%</u> 減)、セグメント利益 <u>61 百万円</u> (前年同期セグメント損失 80 百万円) と <u>黒字</u> 転換しました。	以上の結果、売上高 <u>3 億 80 百万円</u> (前年同期比 <u>46.2%</u> 減)、セグメント損失 <u>0 百万円</u> (前年同期セグメント損失 80 百万円) と <u>なり</u> ました。

(訂正②) 添付資料 15 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、その他の項目に関する情報

【訂正前】

当連結会計年度 (自 2023 年 10 月 1 日 至 2024 年 9 月 30 日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 2	連結財務諸表計上額 (千円) (注) 3
	リアルエステート事業 (千円)	ヘルスケア事業 (千円)	不動産コンサルティング事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	8,406,180	380,823	18,970	8,805,973	66	8,806,039
セグメント間の内部売上高または振替高	—	208,124	—	208,124	△208,124	—
計	8,406,180	588,948	18,970	9,014,098	△208,058	8,806,039
セグメント利益または損失 (△)	1,529,928	61,134	△12,415	1,578,646	△876,651	701,995
セグメント資産	19,218,911	724,397	43,722	19,987,031	△5,772,004	14,215,027
その他の項目						
減価償却費	20,491	231	—	20,722	—	20,722
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	330,867	251	—	331,118	—	331,118

- (注) 1. セグメント利益または損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用△555,335千円およびセグメント間取引消去であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額△5,772,004千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産及びセグメント間消去等であります。全社資産の主なものは、親会社の余資運用資金 (現金及び預金) 等であります。
3. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【訂正後】

当連結会計年度（自 2023 年 10 月 1 日 至 2024 年 9 月 30 日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（千円）	連結財務諸表計上額（千円） （注）3
	リアルエステート事業（千円）	ヘルスケア事業（千円）	不動産コンサルティング事業（千円）	合計（千円）	（注）2	
売上高						
外部顧客への売上高	8,406,180	380,889	18,970	8,806,039	—	8,806,039
セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,406,180	380,889	18,970	8,806,039	—	8,806,039
セグメント利益または損失（△）	1,277,025	△988	△12,415	1,263,620	△561,625	701,995
セグメント資産	13,974,471	666,711	43,722	14,684,914	△469,886	14,215,027
その他の項目						
減価償却費	11,980	231	—	12,211	9,210	21,421
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	330,867	251	—	331,118	526,534	857,652

（注）1. セグメント利益または損失（△）の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用△561,625千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額△469,886千円は、報告セグメントに配分していない全社資産及びセグメント間消去等であります。全社資産の主なもの、育成中の新規事業にかかる事業運営資産（建設仮勘定）及び親会社の余資運用資金（現金及び預金）等であります。

3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△526,534千円は、育成中の新規事業にかかる事業資産（建設仮勘定、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定）の増加であります。

4. 減価償却費の調整額9,210千円は、育成事業にかかるソフトウェアの償却額であります。

5. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。